

会議録

会 議 名	第6回 新郷土資料館整備基本構想・基本計画策定検討会	
日 時	平成29年3月16日(木) 午後18時30分～20時20分	
場 所	クリエイトホール11階第7学習室	
出席者氏名	参加者	新井勝紘、池上裕子、大森映子、小野一之、柿崎博孝、唐沢靖、合田恵美子、高橋洋、内田和隆、及川真由美、本田怜子
	説明者	中正由紀文化財課長(兼郷土資料館長)、尾崎光二主査、中村善行主査
	事務局	河津美穂子主任、熊切唯主事 (株)丹青社 高橋、小杉、丹羽
欠席者氏名	竹口君夫	
議 題	(1)新郷土資料館基本構想について【資料1】 (2)パブリックコメントの実施結果について【資料2】 (3)アンケートの集計状況について【資料3】【資料4】 (4)来年度のスケジュールと検討内容について【参考資料1】【参考資料2】 (5)その他	
公開・非公開の別	公開	
傍聴人の数	なし	
配付資料名	(1) 会議次第 (2) 【資料1】 新郷土資料館基本構想(案) (3) 【資料2】 パブリックコメントの実施結果について(当日配付) (4) 【資料3】 アンケートの集計状況について(当日配付) (5) 【資料4】 来館者用アンケート用紙(当日配付) (6) 【参考資料1】 事業活動計画、展示計画(当日配付) (7) 【参考資料2】 検討会スケジュール(H29.3～)(当日配付)	

会議の内容

<開会の挨拶>

事務局：それでは第6回検討会を始める。今回の署名は内田氏にお願いする。

<(1)新郷土資料館基本構想について>

座長：それでは会議次第に基づき会議を進めたい。事務局から資料の説明をお願いします。

事務局より、基本構想（案）全体を通した修正箇所を説明。

参加者A：第4章の施設の方向性の16ページ空間構成の考え方で、オープンエリア、セミオープンエリア、クローズドエリアの3つの区分は利用者に対する開放基準がポイントとなっているが、気軽さや管理の度合い、有料・無料区分、予約申込の有無など、分ける要素の説明を加えると分かりやすいのでは。自分としてはセミオープンエリアに関心が高い。是非スタッフと来館者との協働活動の場として欲しい。

座長：もっともな意見だ。表に付随して定義づけを加えては。

参加者B：17ページの表にあるキッズスペースは、大きい子どもが館内を見る間、小さい子ども（未だ館内表示に興味を抱けない子）が、保護者（複数の保護者が来ており館内を回っている保護者と別の保護者）と過ごす場か。

事務局：未就学児を対象とする場とも、歴史の玩具で遊ぶ場ともできる。クリエイティブホールにもあるような授乳室や託児スペースも当然必要だが、郷土資料館としては多少なりとも教育要素を含めたい。

事務局：医療刑務所跡地活用の全体計画の中で、施設が複合型になるかなどを含め、施設構成は今後の検討としたい。

参加者C：17ページでセミオープンエリアに講堂があるが、大袈裟な印象があるので、講座室などの身近な表現としては。

事務局：講座室も必要だが、250名前後が入る大きめの部屋が必要と考え、講堂と表現した。

参加者D：16ページの空間構成の考え方は前回よりも分かりやすくなったが、セミオープンエリアの考え方は「～重要文化財を展示する特別展示エリア」でなく「重要文化財も」、ではないか。

事務局：公開承認施設としての要素を重視してこのように記述したが、「指定文化財も展示可能な」と表現を修正したい。

参加者E：17ページの施設の構成案に防災備蓄倉庫とあるが、跡地活用計画の中で新郷土資料館を防災の拠点としても位置づけるためか。

事務局：医療刑務所跡地活用計画では、屋外にも建物内にも一定の防災体制が必要となるが、どこに設けるかは未定。

参加者E：今後、具体的な検討をすると思うが、全体の中での新郷土資料館の位置づけを明確にして欲しい。

座長：跡地活用計画に示された3つの要素の扱いはまだ決まっていない。

会議の内容

事務局：全体計画の中で、相互の関連性を出す必要があると思うので、今は方向性のみ出し、今後明確化していきたい。

参加者 C：博物館に行くと、個別にゆっくり映像を見られる視聴覚コーナーがあるが、検討しているか。

事務局：検討しているので、項目を追記したい。

参加者 F：17 ページの展示部門で、企画展示室がオープンエリアに、特別展示室がセミオープンエリアにあるが、別室として2つを設ける方針か。

事務局：現状は2つを別としているが、今後どうするかを考えたい。

参加者 B：7 ページの入館者数の推移で、以前の会議で、平成 24、25 年に減少した理由を隣接施設の移転の影響もあるかと思われると聞いたが、説明を記載するかどうか。

事務局：入館者数減少の理由は特定し切れるものではないので、記載せずにおきたい。

座長：基本構想の修正は、資料館に任せて良いと考える。

事務局：今回頂いた意見を反映して、基本構想としてまとめたい。次回検討会でまとめたものをお示しする。

<(2)パブリックコメントの実施結果について>

事務局より、パブリックコメント実施結果と提出意見の概要を説明。

参加者 C：事務局の方で注目する意見はあるか。

事務局：今回は概ね賛成意見だったが、自然の要素を取り込む要望が複数あった。他、「協創」が分かりにくいという指摘があり、表現を考えたい。また、豊富な実物資料に対する認識も強いようなので、資料をしっかりと見せたい。

参加者 E：回答の仕方は、いずれも語尾が「検討に取り組む考えです」だが、寄せられた意見は全て検討するが、全て取り上げるとは限らない、と理解して良いか。

事務局：頂いた意見の一部は基本構想に反映し、来年度の基本計画でも参考にするが、内容によっては盛り込めないこともあると思う。

座長：意見を反映したことで、基本構想の内容が良くなったと思う。

<(3)アンケートの集計状況について>

事務局より、市内の小学6年生に実施したアンケートの集計概要について説明。また、来館者アンケートは現在実施中の為、目標の回答者数100名に達し次第集計・報告する方針を説明。

座長：小学生に対するアンケートはあまり行わないので、良いと思う。知らなかったから来ない子が多いということは、知れば来るかもしれない。高橋副座長：今の小学生は、パソコンやスマホなどのバーチャルな世界から知識を得ることが多いので、実体験をしたいという素直

会議の内容

な意見が回答に表れていると思う。小中高生は映像を見慣れているので実際に火おこしや土器で遊ぶなど、体験できる場所が必要。学校では体験の場をなかなか作れない。親御さんも、郷土資料館の中での体験ならば、了解すると思う。また、千人同心の知名度が資料館の想定より低かったとのことだが、学校では千人同心をあまりアピールできていないと思う。

参加者 B：郷土資料館に行った理由で学校の授業と回答した子どもが多いが、誰が行ったかは、先生と、という回答が少ないのはなぜか。

副座長：先生と一緒にいったのは当然なので、あえて回答しなかったのかもしれない。

参加者 A：アンケート結果で、最初に学校ごとに行った・行かないが区分されているが、学校で行かなかった人の行った理由などに興味がある。

事務局：学校で行ったかどうかは平成 27 年度の実績であり、3 年生の時に行ったかどうか特定できない。

副座長：学校で行かない理由は、遠いという理由が多いと思う。観光バスの貸切りはお金がかかるので、徒歩や公共交通機関で行ける施設を選ぶ。

参加者 E：市から補助は出ないのか。

副座長：4 年生のプラネタリウムや 5 年生の宿泊行事は市から補助が出る。3～6 年の社会科見学のバス費用も市から出るが、3 年は八王子の地形理解のため、ぐるっと回るコースが多く、郷土資料館に行かないのでは。

座長：八王子市内の小学校で、毎年バスで府中市郷土の森博物館を訪れ、石臼体験やプラネタリウムを観覧してくれる所もある。

<(4) 来年度のスケジュールと検討内容について>

事務局より、来年度の検討会開催およびイメージ図公表のスケジュール案と、基本計画の目次構成案、事業活動計画および展示計画の素案について説明。

副座長：スケジュールの中にイメージ図公表があるが、イメージ図の内容は、外観か、内部もか。また、誰が描くのか。イメージ図は市民に公表すると、実現できるかどうか議論となり、実現しないとがっかりされるので、内容をじっくり市内部でも議論する必要があるのでは。

事務局：ご指摘の通り、この段階でイメージ図を作るのは難しい。全体計画もまだ進んでおらず、外観を描くのは難しいため、展示や、館内に入ったエリアなど、内部のイメージ図を作成する方針。展示などの計画が進めば描けるのではないかと考える。図を描くのは丹青社に依頼し、市内の教育委員会や市長の承認を得た後、公開に至る予定。多

<p>会議の内容</p>	<p>世代が集ったり、実物を触わるなど、何かしらの特徴的な柱を設定したい。</p> <p>参加者 C：私も展示計画に関わったことがあるが、手法ばかりを先行させず、どういうテーマで何を訴えるかを同時に考える必要があると思う。八王子の歴史や文化を、どのような新しい切り口で紹介するのか。また、展示の新しい手法は外部からレクチャーを受けた方が良いのでは。</p> <p>事務局：最近の研究成果は、皆さんからご意見を頂きたい。展示手法は、丹青社が実績豊富なので、次回以降に例示頂けると思う。また、今の最新技術は、設計段階でさらに進歩すると思うので、基本の部分を議論したいと思う。</p> <p>座長：今回の検討会では決められないが、今後議論したい。</p> <p><(5)その他></p> <p>事務局：来年度の第1回検討会は、5月19日（金）18:30～20:30に開催する予定。</p> <p>座長：これにて第6回検討会を閉会する。ありがとうございました。</p>
--------------	--